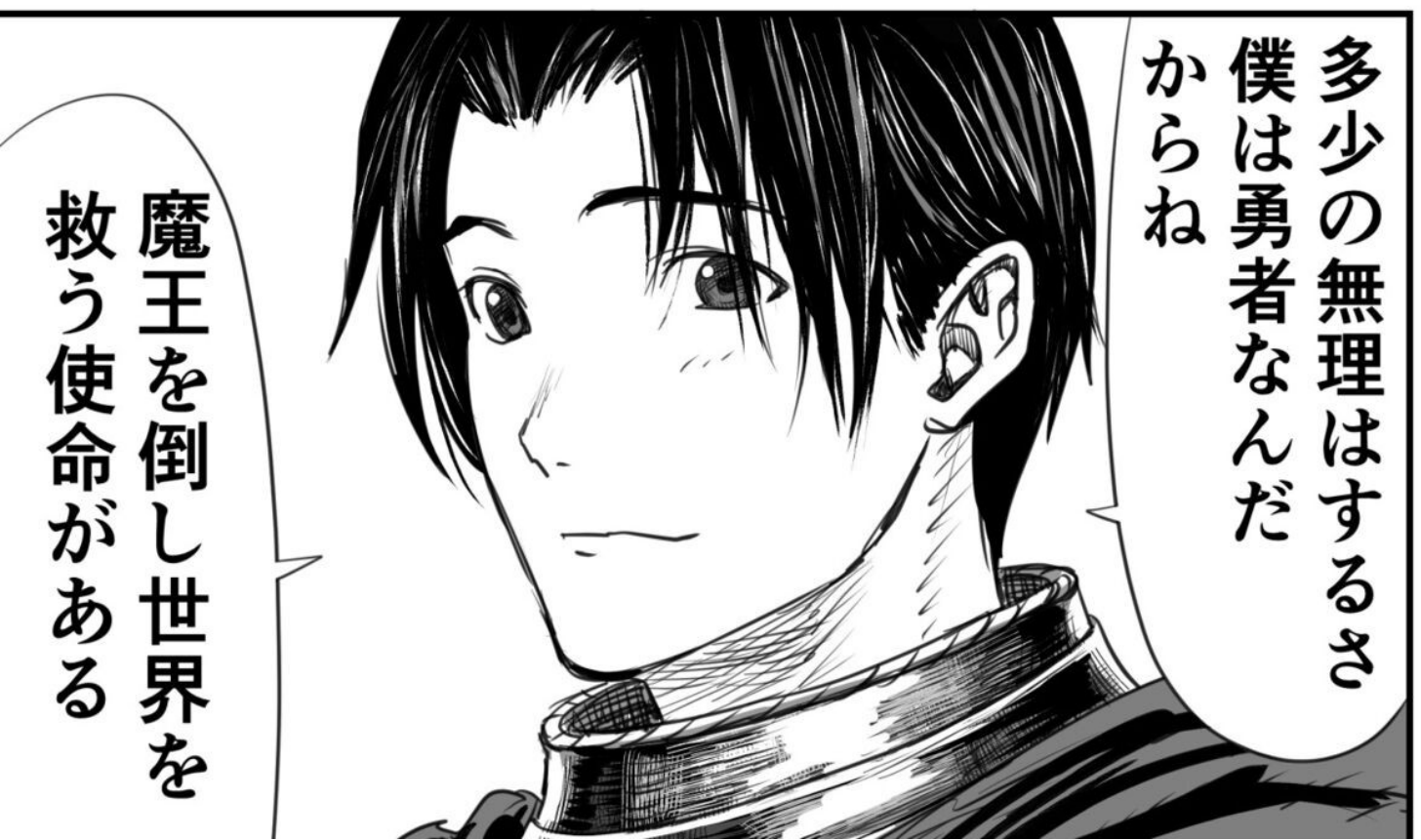


ネトラレ勇者の行末





世界を救うのも
もちろん大事
だけどね

自分の体のことも
大切に考えて

ホント小さい頃から
変わらないわね
自分より相手を
優先する所

…はは

……

あのさミリア
まだずっと先で
全然気の早い話
なんだけどさ…

もし魔王を…
いや必ず魔王を
倒してみせる

そして世界が
平和になった
後にさ…その

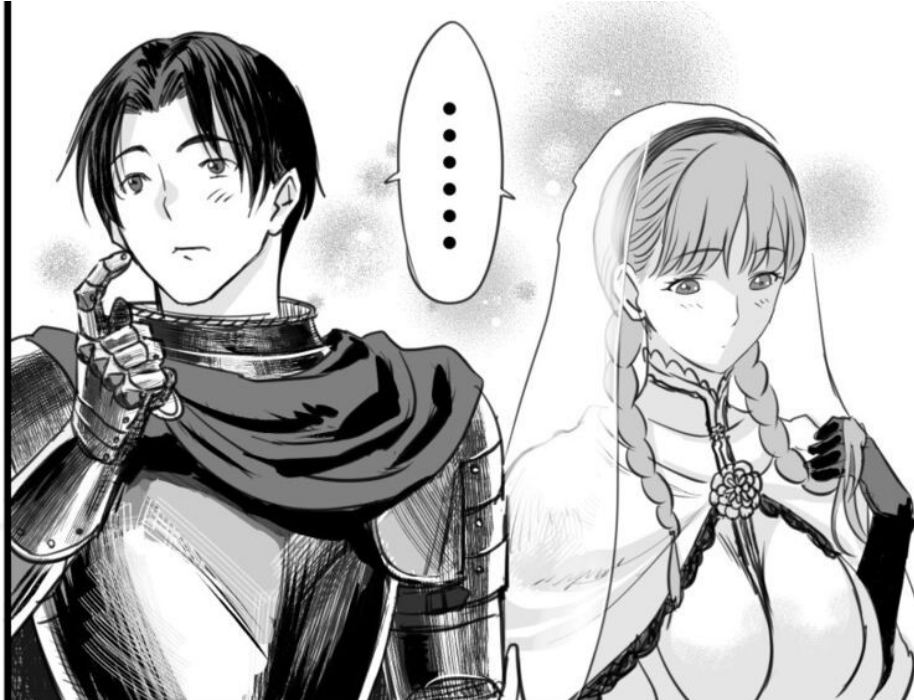
僕と…
その…一緒に…

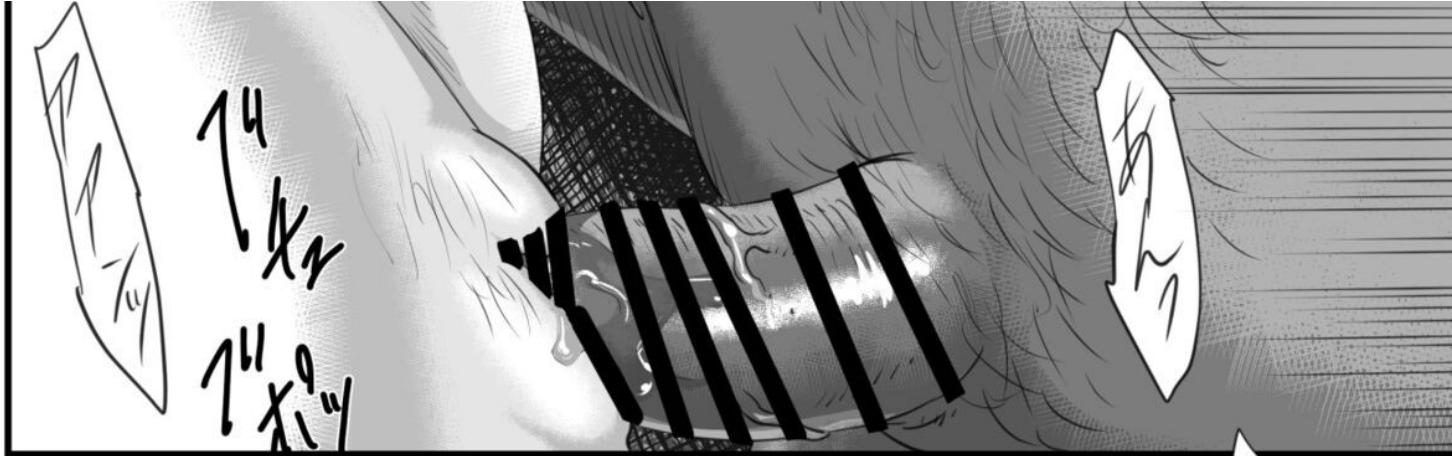
……

うん…



おいそろそろ
俺の方も治して
くれー





ふざけるなっ

出発の時間は
とつくに過ぎて
いるぞ!!

これで何度目
だと思って…

うるせーなあ
別にいいだろ

魔王討伐っていう
大変名誉でクソめんどくせー
王様直々の頼み事をよオ
文句のひとつも垂れず訊いて
やってんだ

これぐらいの
息抜きはしねーと
やってらんねーよ

カルロス：君は強い
魔物との戦闘では
本当に頼りになる
だから選ばれたん
だろう

けどその
女…グセを…

お前と違って俺は
やりたくなかった
時にやることが
できねーんだ

長旅の間ずっと
女日照りでいろ
ってのか

…！それは
どういう意味だ
カルロス…!!

だからミリアだよ
いいなあたまんねー
だろアイツ



そんな目で
ミリアを!!

やめて
ハリー!!



…!!

お前っ



カルロス!
気が済んだら
なるべく早く
追いついてきて

……



ミリアっ

落ち着いてっ
もう先に行き
ましょ

でも…

いいからっ

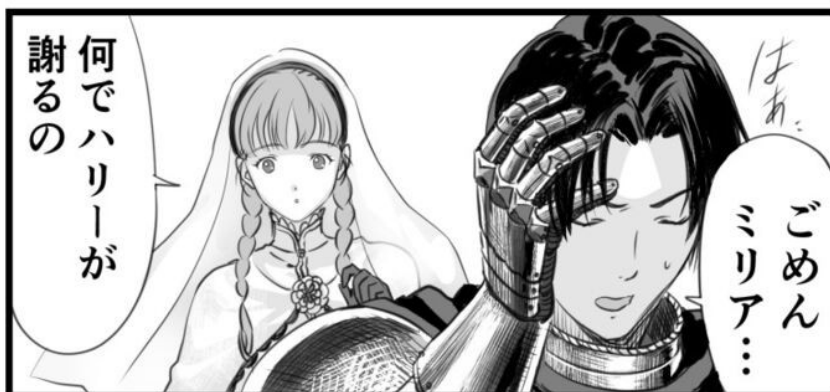


…ああ

ふ…
やっぱり…



分かった!?





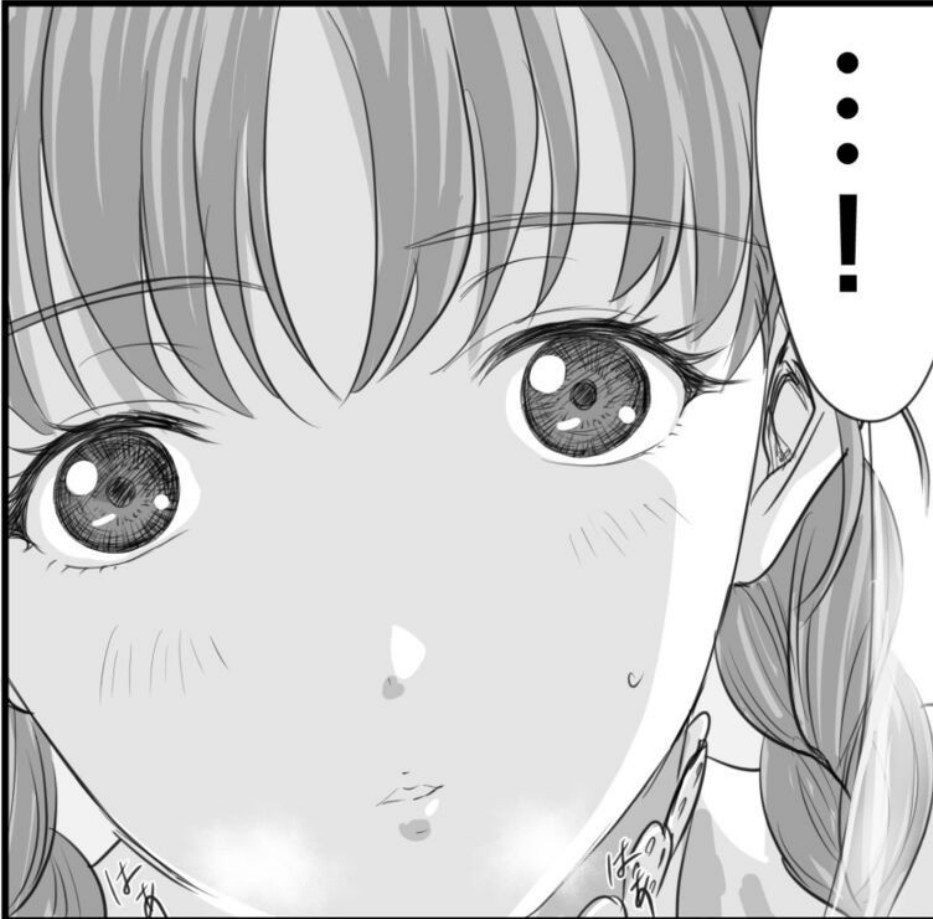
なっ何を
考えているんだ
僕は…!!



あんなものを
見てしまった
せいか!?



●●●●●



ハリー…



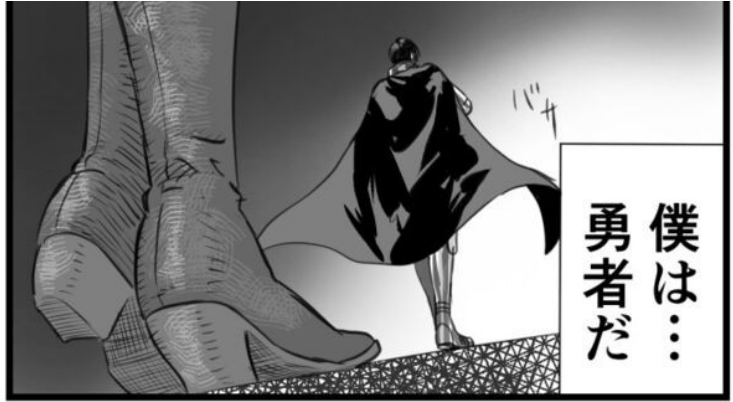
ミリア
君も
まさか…

きゅ



いっ
行こうっ

あ…



僕は：
勇者だ

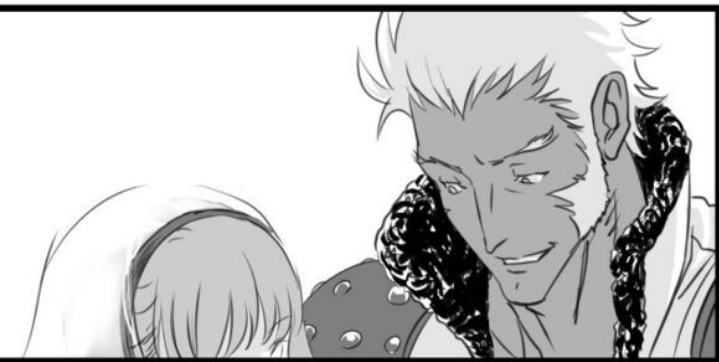


魔王を倒し
世界を救う
ことが最優先だ

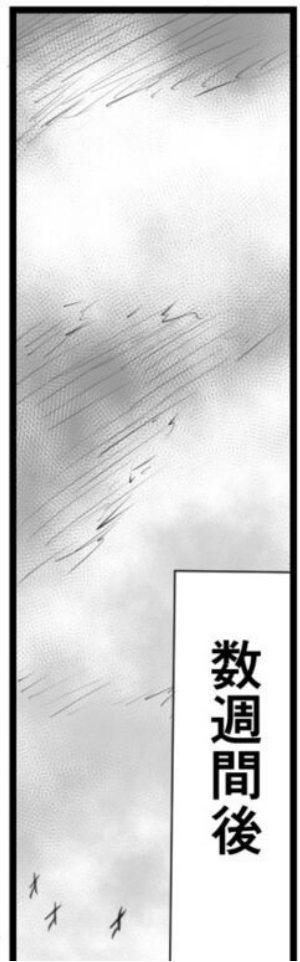


ミリア
ごめん…

でも必ず
その時が
来たら…



だから待って
いてくれ…!!



数週間後



魔王城に
近づくにつれ
魔物も手強くなっ
てきている!!

油断するな
二人共っ



...!



分かってるよオ

ええっ



なんか

なんか
...?



...あれ



この所ずっと
戦いと野宿続き
だったので



久々のベッドで
僕は泥のように
眠りこけていた

そう…そのまま
深い眠りの淵に落ちて
いれば良かったんだ



…ん



おしっこ…

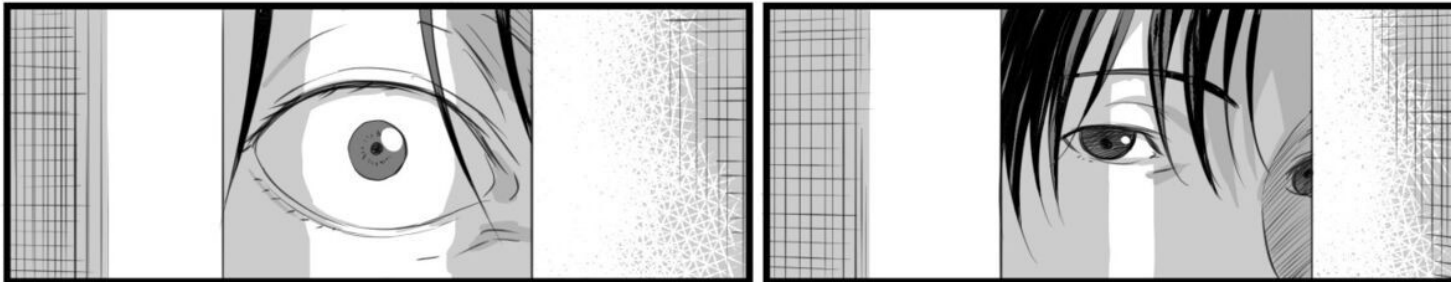
ん…明かり…
カルロスまだ起きて…



その時僕は微かに
嫌な予感がした

だが寝ぼけまなこの僕は
その細明かりに無防備に
吸い込まれてしまっていた







え……？
……
……

え……？
え……？
なんだアレは



幻惑魔法にでも
かかっているのか
僕は……？

[illegible]



感じている
のか？

感じ……？
ミリア



ああっ



僕は今すぐにでも
ドアを蹴破って
やりたかった

だけどなぜか
体をピクリとも
動かせなかった



きつと石化魔法も
かかっているに
違いなかった

ほらミリア
今度はお前の番
……だせ？



ミリアは
慣れた手つきで

カルロス
の
チンポを
しごき
始めた

シクシク
パツ

ミリアは
慣れた手つきで

カルロス
の
チンポを
しごき
始めた

シクシク
パツ



慣れた手つき…
え？慣れた？
ちよっと待ってくれ

今日が…
初めてじゃない？



慣れた手つき…
え？慣れた？
ちよっと待ってくれ

今日が…
初めてじゃない？

前
から
…?
…?

なんてカオして
チンポしゃぶ
ってんだ

グググググ
グググググ

なんてカオして
チンポしゃぶ
ってんだ

グググググ
グググググ



中はダメ
：だから

ウハッ

分かって
るって



ああんっ

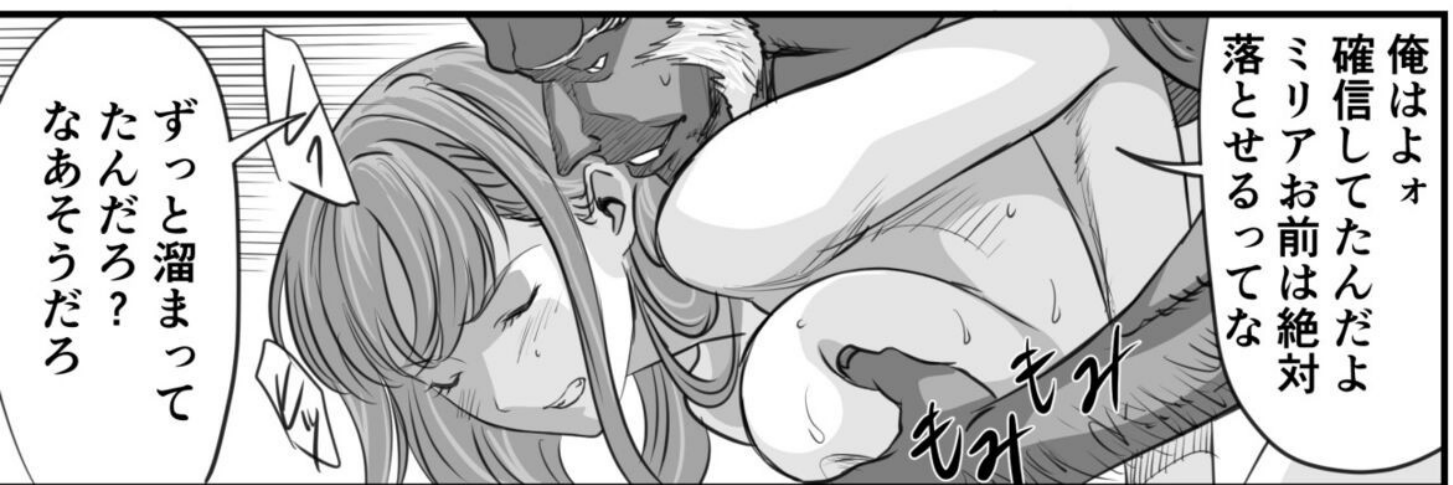
ああゝ気持ちいいっ
やっぱサイコーだぜ
お前のマンコ！

魔物との戦いで
負った傷は回復魔法で
くたびれたチンポは
トロトロマンコで
癒してくれるってか

ホント最高の
賢者様だな
お前はっ

まったく
つくづく尊敬
するぜっ

あのドーテイ
勇者サマ
にはよ！



悪いのは
アイツなんだ
からよ

スリ
スリ
スリ

.....

ああ...!
きたきた...

ギ
グ

外っ外!

今度は
ちゃんと...

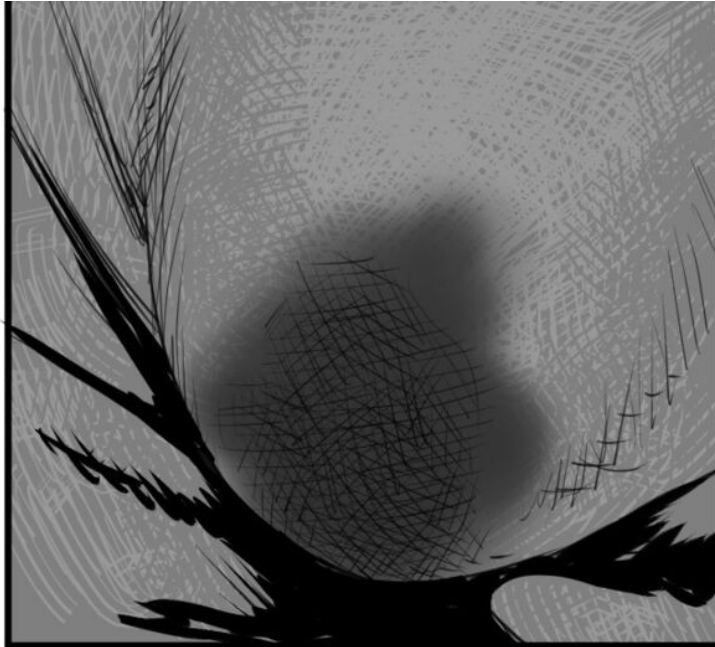
ハ
ハ

分かってる
分かってる

.....!

分かってエ





射精していた

二人の一部始終を
見て僕は…



股間がベトベトして
気持ち悪かったが
何とか眠ることにした



僕はそのまま
部屋へ戻りベッドに
潜り込んだ



う…

うううっ…

あの夜の後
ようやく僕は
気付いた



二人が毎日のように
やりまくっていた
ことを…

昼夜どこでも場所
問わず僕に隠れて
…つもりで



何度も何度も
何度も何度も

…本当は前から
おかしいなと
思ったことは
何回もあった



でも僕は
気付かない
フリをして
いたんだ

怖かった
からだ



もしそうだ
ったらと
思うと…

結局僕は
見ぬフリを
続けている



なぜなら
魔王討伐には
二人の協力が不可欠
だったからだ

今二人を
問い詰めたら
…壊れてしまっ
たかもしれない
何もかも



だから
できない
できないんだ
絶対

僕は勇者だ
魔王を倒し
世界を救うことが
最優先だ

二人のことは
…その後でいい

やった…
長かった
遂にここまで
来たんだ…

見ろ二人共っ！

魔王城だ！！

ああ…
そうだな

そう…ね

…
よしじゃあ
乗り込むぞ



…何だって？



待ってくれ
ハリー

一度…
戻らないか
…町に

クハハハハ



だよなあ…
お前ならそう
言うと思ったよ

ダメだ
そんなヒマは無い
今更引き返せるか
馬も失っているのに



…!!
ふざけ…

それにな
ハリー



だったら
俺とミリアは
ここでお別れだ

悪いなハリー



ここに辿り着くまでに
強力な魔物との連戦で
アイテムが底を尽いて
しまっている

だからロクな回復も
できず…ほら見ろ三人共
もう満身創痍だ

こんな状態で
魔王城に行ったら…
結果は見てるだろ？



.....え...



俺の子

ミリアさ
妊娠してんだ



だからほら
分かるだろ？

これ以上無理
させるわけには
いかねーんだよ

死ぬって
分かりきってる
戦いに挑むってんなら
尚更だ

俺達は町に戻る
魔王とやるってんなら
お前一人で勝手に
やってくれ



ハリー俺さ
ミリアのこと
愛してんだ

マジで

正直最初は
遊びのつもり
だったんだ

けど一緒にいるうちに
段々マジになってきてよ

そしたらデキたって
言うじゃん？

俺あ
腹括ったよ

こいつら守って
いこーってな

そんな御託ほざく前に
僕に何か言うことが
あるだろお前

：町に戻って
準備を整えたら：
戻ってくるんだな？

あーいや
分かんねー
：かも

あのさ：
ここまで来て
言うのもなんだが
そんな重要な
ことか？

魔王倒すの
ってさ

はあ!?

カルロス
お前っ!!

やめて
ハリー

!!



ミリア…っ



そんな…



……分かった
分かったよ

もう君達の好きに
すればいいさ…

ははは…

…魔王を倒すのはっ



僕一人でやって
やるさっ!!

…健闘を
祈ってるぜ



勇者サマ



ミリア…



行こうぜ
ミリア



何も…
僕に何も
言わずに…

行ってしまう
のか…?



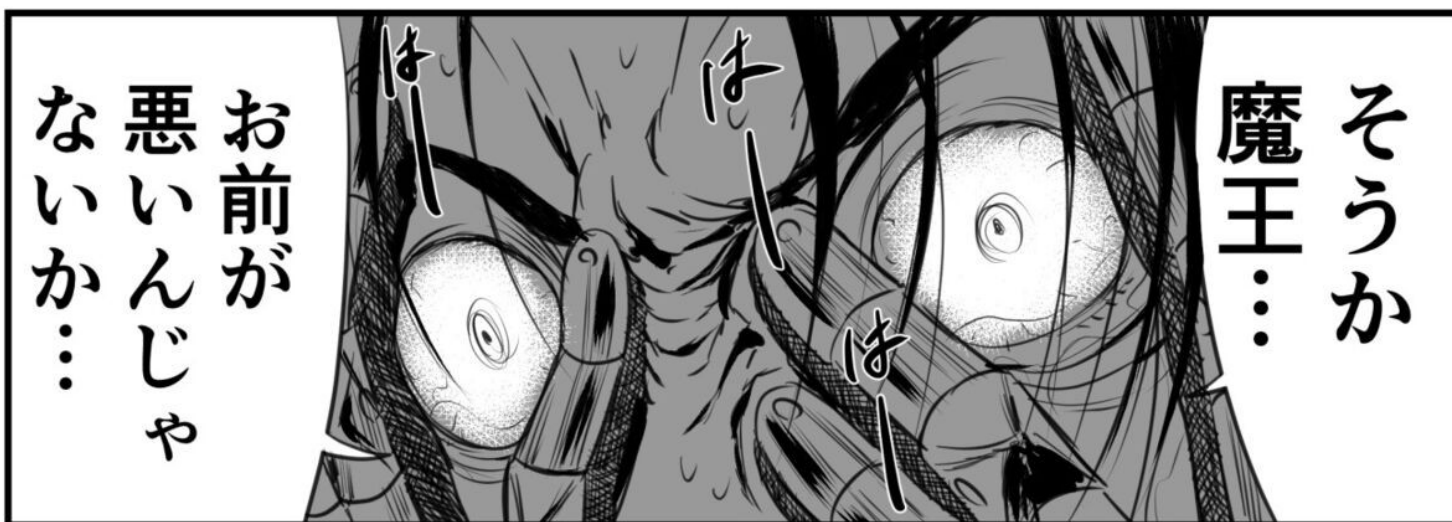
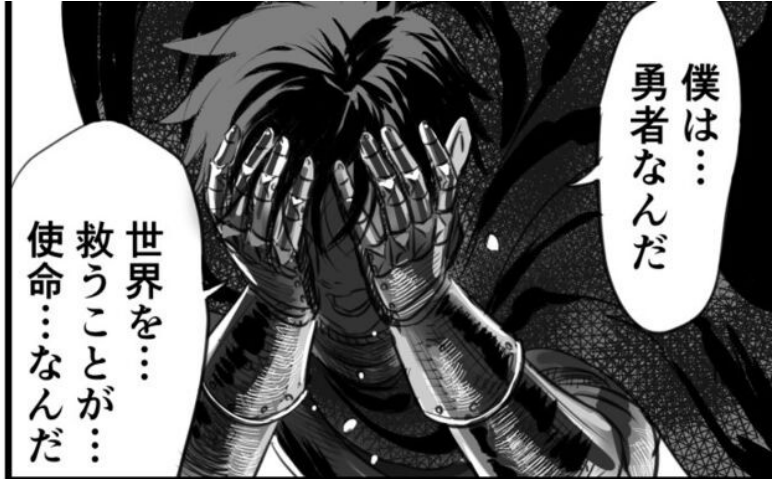
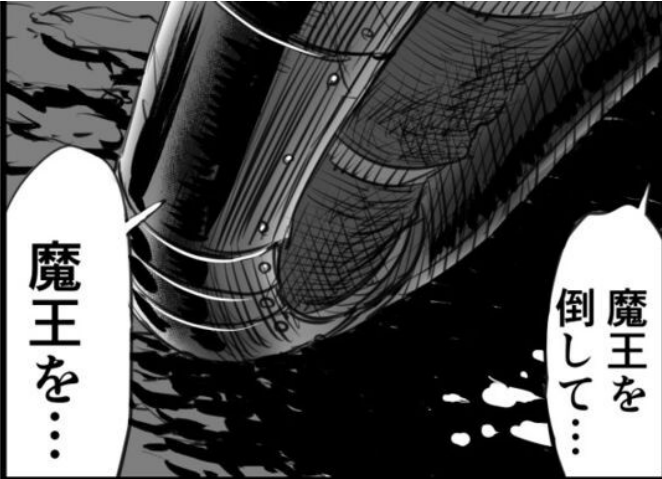
…うっ

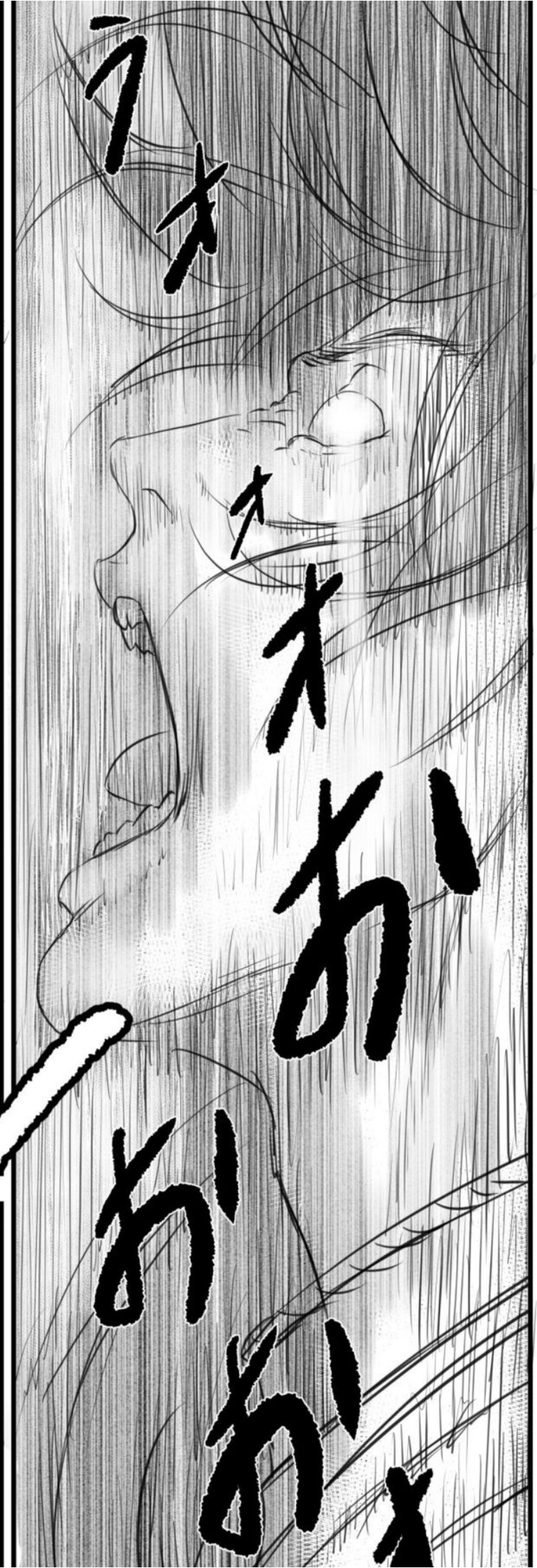
ううっ…



僕が…僕が
悪いのか…

僕が間違っ
…いたのか…







殺してやるっ

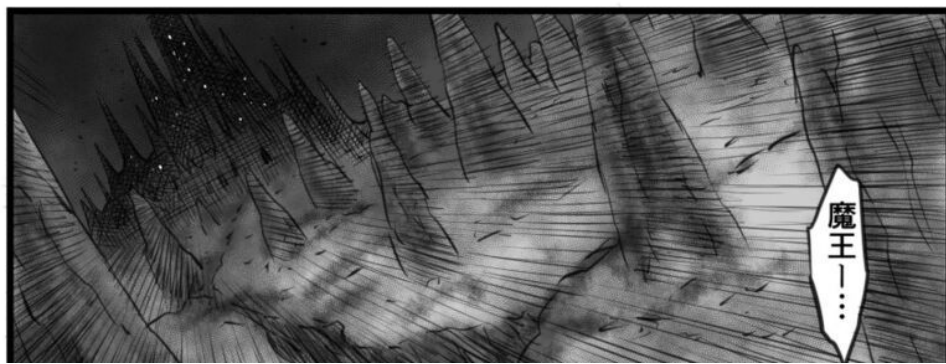
魔王!!

ガッ
ザッ

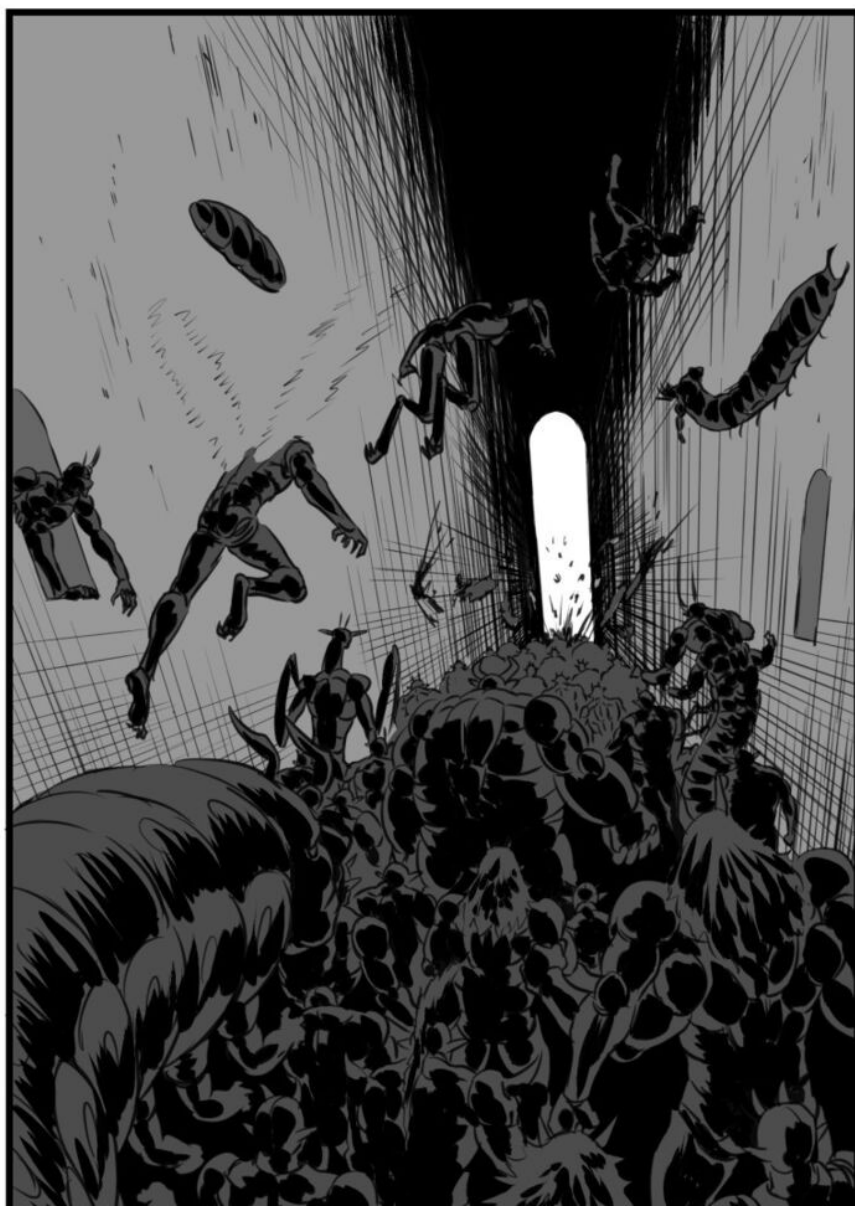


殺すっ

ブッ殺して
やるっ



魔王…





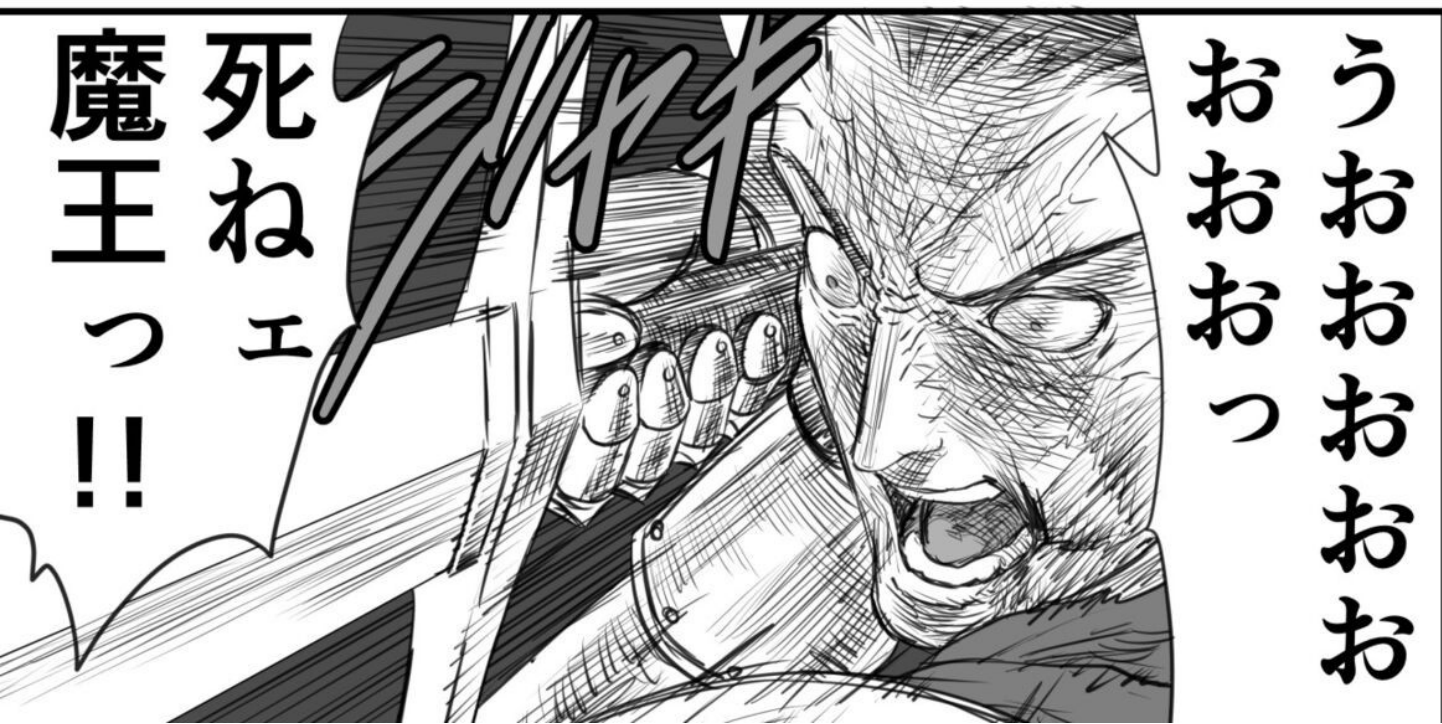
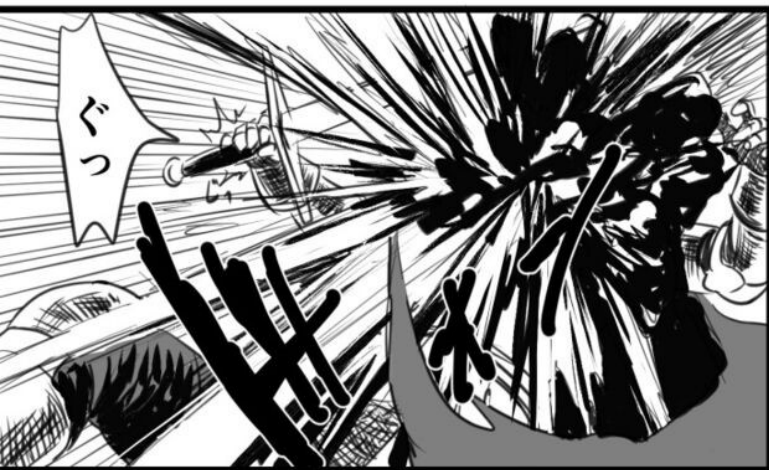




魔王っ



会いに来たぜエ
この勇者様が
よオツ!!



うおおおお
おおお





バカな…

お前が…
魔王……!!?



…ふざけるな
早く本性を…

本当の姿を
現せ…



これが儂の姿じゃ
どうした? 何故
剣を止める



そうじゃ

勇者よ

儂の首を
取りたければ
取るがよい

何だと……？

今の儂にお主を
屠れるほどの力は
もう持っておらぬ

凄まじき力よ
儂の息子をまさか
一太刀とはな

近々あれが
儂の後を継ぐ
予定じゃった

…そーかい
へっなーんだ
やっぱり僕が
正しかったんじや
ないか

カルロスも
…ミリア…も

ハハハハ

こんな…クソザコ
魔王なんかに
ビビって…

…お主



お望み通り
今ブツ殺して
やるよオ

ハハッそしたら
世界は救われて
万事めでたし
めでたしだ



泣いて
おるのか？

っ!!うつ
うるさい……!



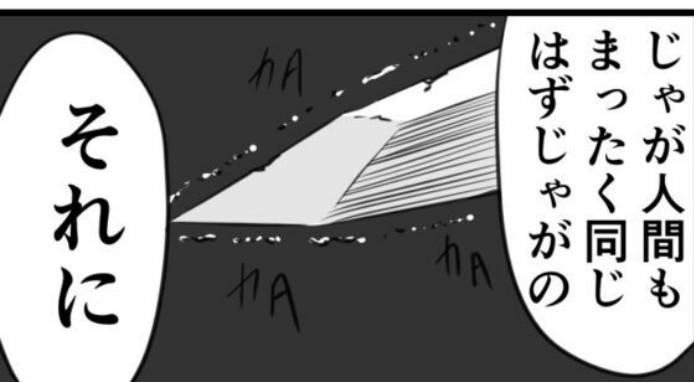
：お主は
儂を殺せば：
魔族がいなく
なれば

この世界に
泰平が訪れると
思っておるのか？



：まあ中には
快楽で殺す輩も
おるがの

しかしそれは
生きていく
ためじゃ



それに

じゃが人間も
まったく同じ
はずじゃがの



当たり前だ
お前たち魔族は
人間の敵だ!!

確かに
我らは人間を
襲い食う

お主達人間を
最も多く殺して
いる種族は



同じお主達
人間であろうが

勇者よ
お主は魔族という
その一点でしかモノを
見ておらぬ

一度我らから
目を逸らし周りを
見渡してみよ



世の至る所で
今も絶え間ない争いが
起こっておる



そしてその殆どが
人間同士の戦争だ

そんな...それは
...ちが...

お前ら魔族が...
お前のせいで
ミリアは...



勇者よ





それで
あろう？



お主の
その怒りや
悲しみ…

本当は僕に
向けたものでは
ない…

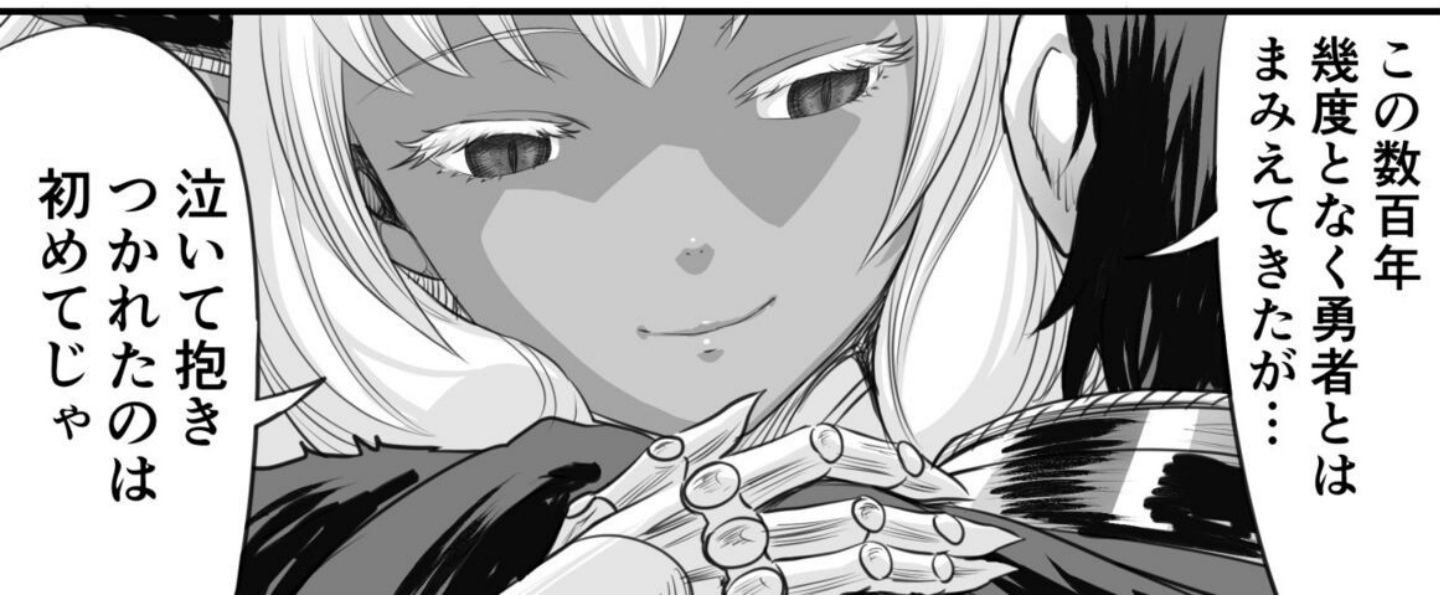


…!!
う…うう
…うあう…



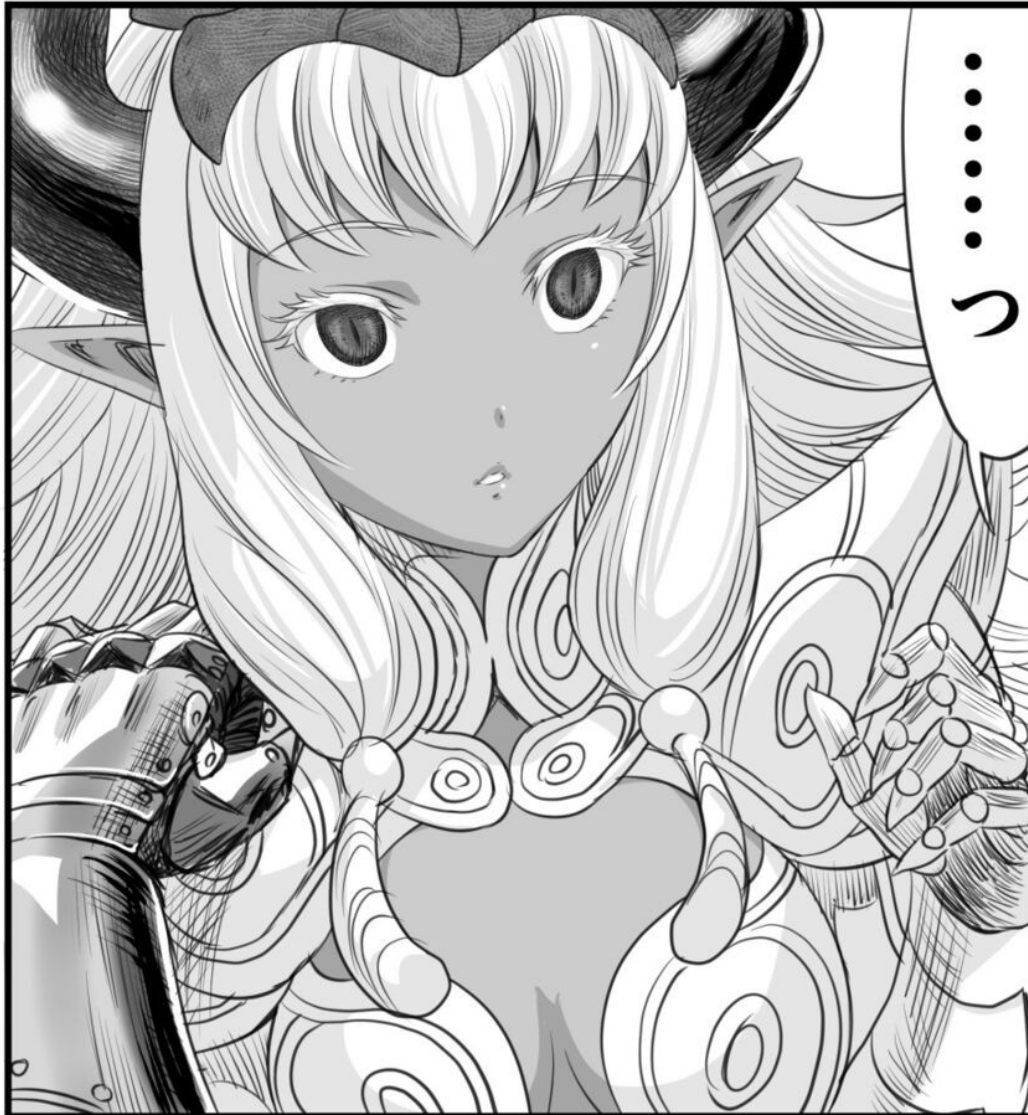
うあああ
あああ
…っ!!

おうっ



この数百年
幾度となく勇者とは
まみえてきたが…

泣いて抱き
つかれたのは
初めてじゃ



…抱きたいか？

この儂を

っ!!
ちがつそんな
ワケがつ…!!

すけりゃ
すけりゃ
すけりゃ

魔族の
お前とだ
なんて…!!

オトコ オンナ
雄と雌の
本能の前では

種族の違いなど
無に等しい…

儂は拒み
などせぬ

決める権利が
あるのはお主
じゃからな

…どうじゃ
儂では不満
か？

…そんな
…ことは…

ならば
抱いてみよ

この魔王の具合……
そう悪いものでも
ないぞ？

……っ

……ああ
何を……

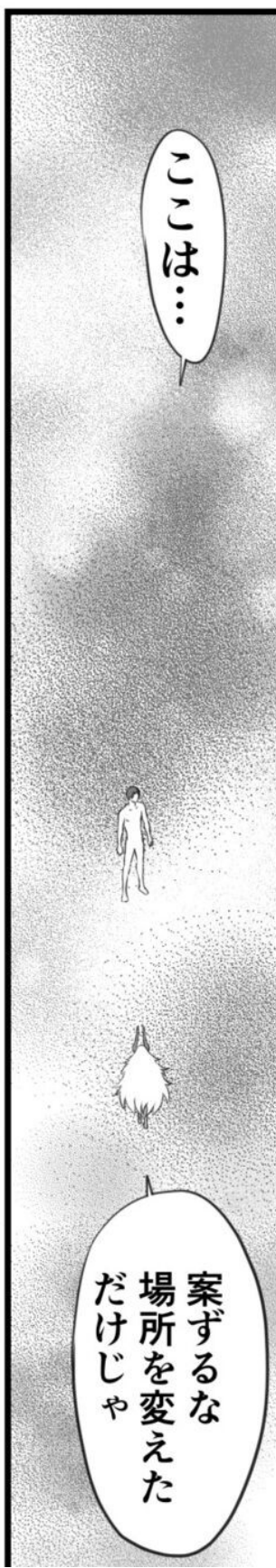
何をやって
いるんだ
僕は……



…ん？
どうした

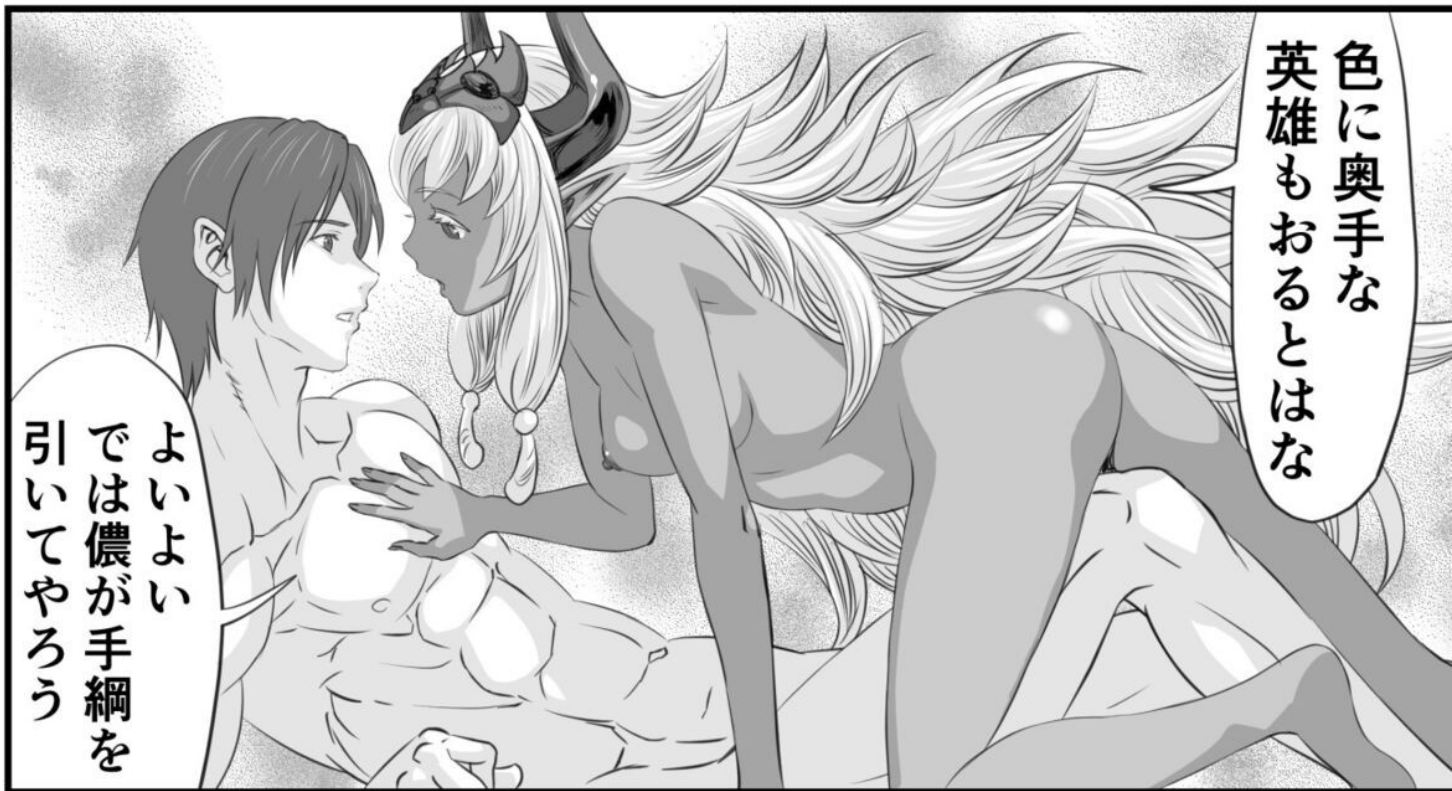


玉座でするには
ちとむうどに
欠けるからの



ここは…

案ずるな
場所を変えた
だけじゃ







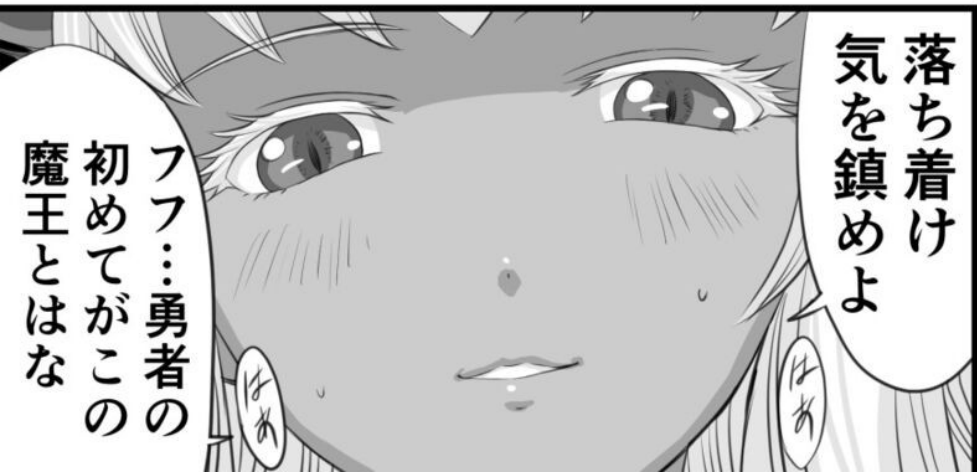
では
そろそろ...



...よし



いただくと
しようかの



落ち着け
気を鎮めよ

フフ...勇者の
初めてがこの
魔王とはな





はああ…



長生きは
してみる
ものじゃな



んっ…

フフフ…ほれ
入ったぞ根元
まで…な

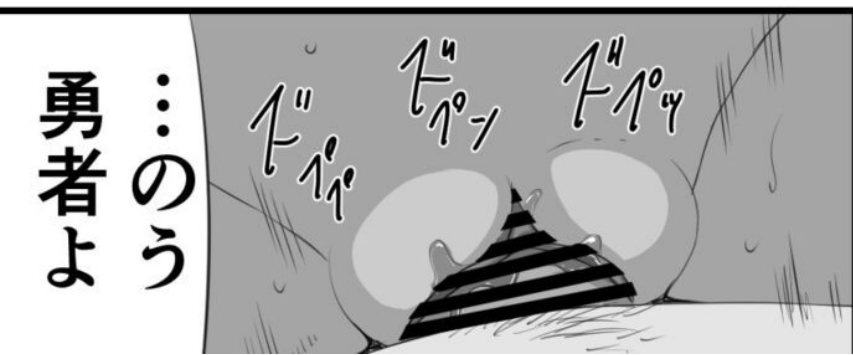
どうじゃ？
魔王のナカは

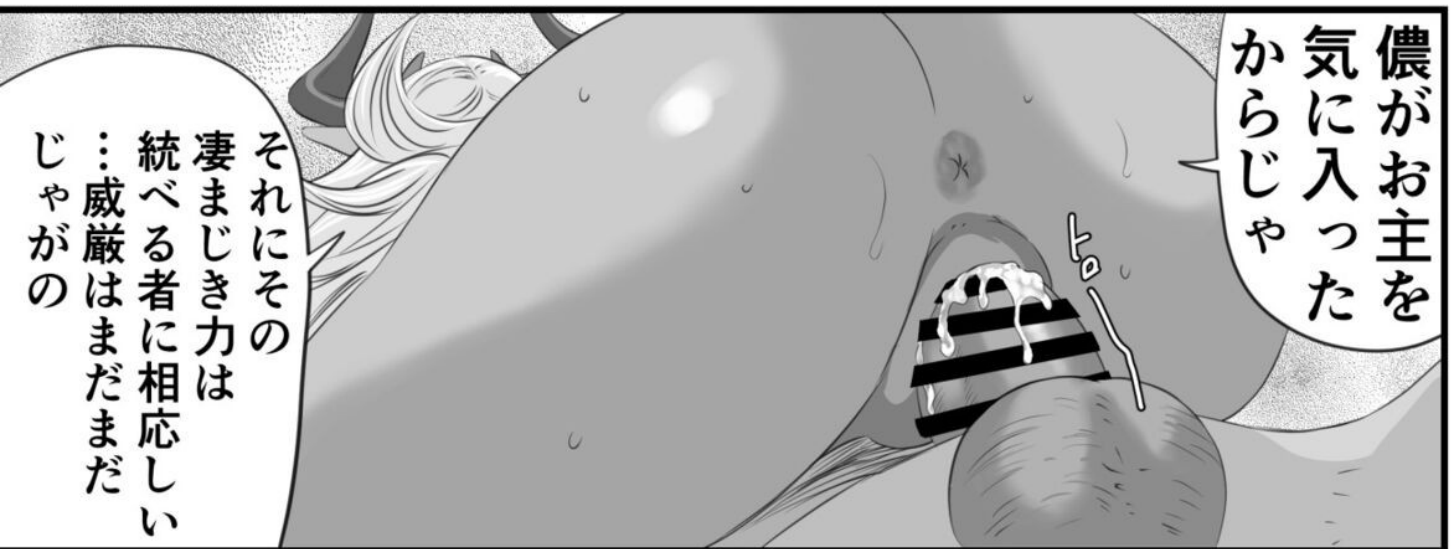
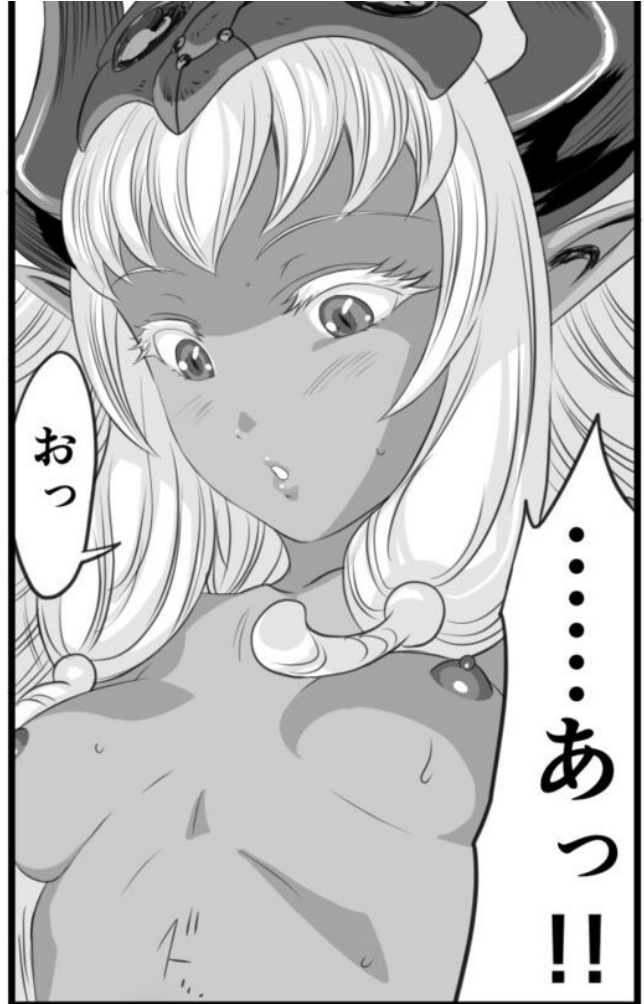


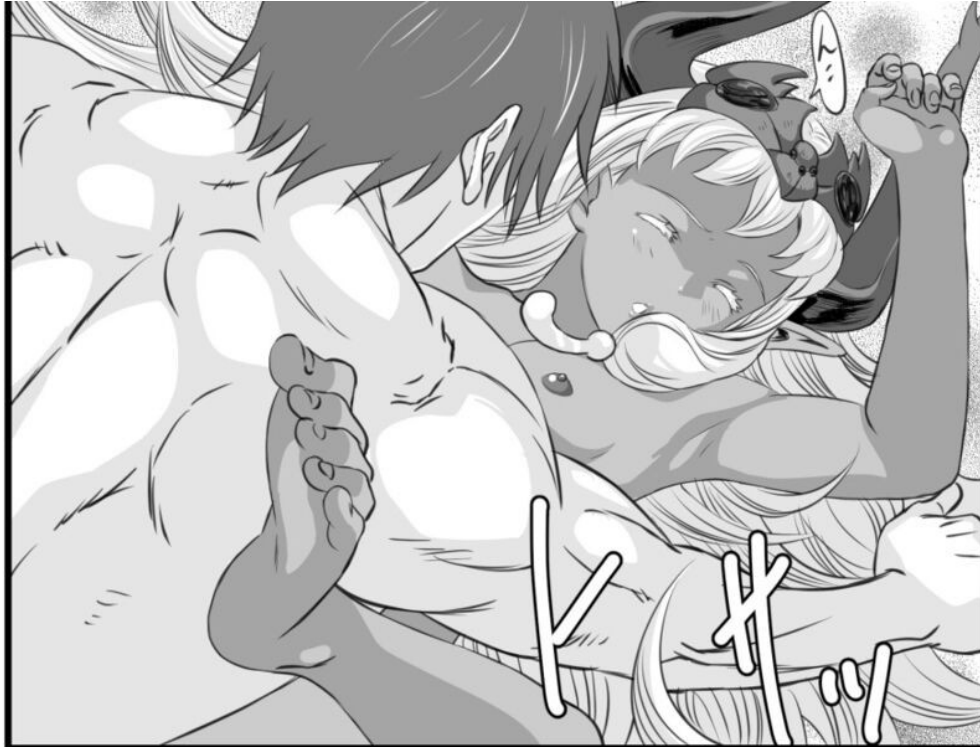
言葉に
ならぬか…
よいよい

お主はただ
感じておれば
よい









：善とか悪とか
区別すること自体
無意味で下らぬ

大切なのは

己が何を
したいのか
何を成すべき
なのか：



メチャクチャに
してやる

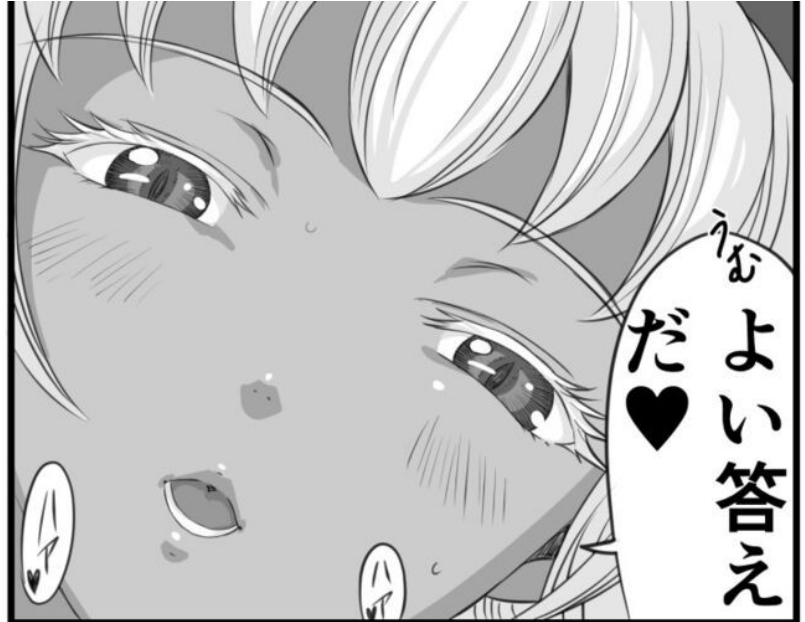


そーかよ…

だったら
そーしてやるよ



はああっ



うふ いい答え
だ♡



お主の望む
ようにやれっ



望みたい
ものに成れっ

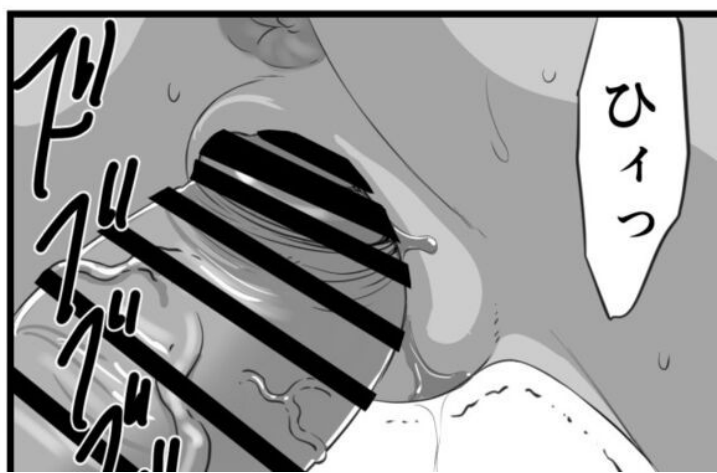


もう誰かのために
己を犠牲にする
必要はないっ



そうじゃっ
それでよいっ

よいっ
よいぞっ





これで
いいんだ



何でこんな
簡単なことが
できなかった
んだ

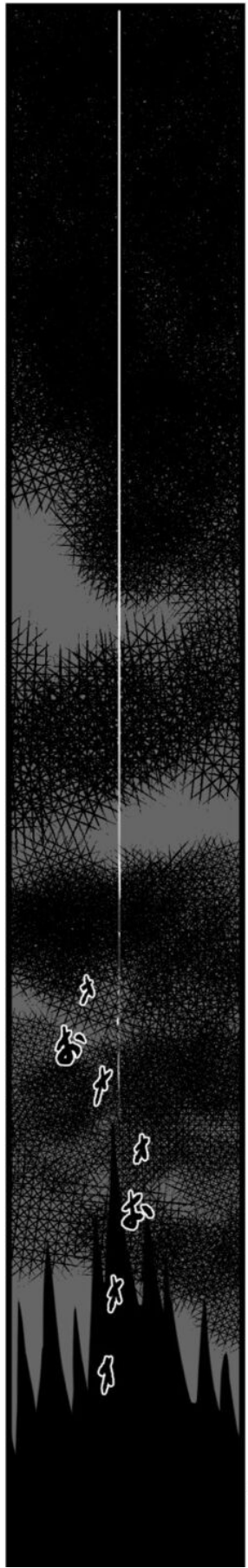
イイツ
イイぞつ

勇者っ
...いや

新たななる

ううう...

魔王よ



数か月後
かつて勇者
だった者がいた
国は

魔王軍の
侵攻によって
滅亡した



そして







俺はハリー
ではない

俺は



魔王だ